

家庭学習の手引き

家庭保管用

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、欠かすことのできない「生きるための力」です。本校では、この生きる力の基となる基礎学力を高める努力をしていますが、ご家庭と協力することにより、さらにその力は何倍にも高められます。よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に貼っていただき、お子様の学力向上にお役立てください。

1 家庭学習の習慣づくり

☆学習時間のめやす（平日）

- 1・2学年…30分以上
- 3・4学年…40分以上
- 5・6学年…1時間以上

☆学習の大切なポイント

- 勉強する時は、テレビを消す。
- よい姿勢でする。
- 決めた場所で学習する。
- 机の上をきれいに片付ける。

☆学力向上は規則正しい生活から

- 睡眠時間を十分とる。
- 朝食は必ずとる。
- 朝、排便する習慣をつける。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- テレビやゲームは1日1時間以内にする。

2 家庭学習の参考例（各学年共通）

- 国語** ・漢字練習 ・意味調べ ・視写
 ・読書 ・音読 ・日記
 ・漢字テストで間違った漢字を覚える。
 ・言葉の使い方を覚える。
- 算数** ・計算練習 ・百ます計算
 ・テストで間違った問題をもう一度、ノートに写して解いてみる。
- 社会・理科・総合など**
 ・勉強したところに関係がある事から本、辞典、インターネットなどで調べてまとめる。

3 各学年で身につけたい力

1年生

- ① 鉛筆を正しく持ち、字が書ける。
- ② ひらがな、かたかなが読めて書ける。
- ③ 助詞（て、に、を、は）を使って文章が書ける。
- ④ 80字の担当漢字のすべてが読め、8割ほどの漢字が書ける。
- ⑤ たし算、ひき算ができる。
- ⑥ 時刻を読むことができる。

2年生

- ① 大きな声で「、」や「。」に気をつけて、ゆっくり正確に文章が読める。
- ② 160字の担当漢字のすべてが読め、8割ほどの漢字が書ける。
- ③ 順序よく話をするができる。
- ④ 作文の書き方がわかり、助詞（て、に、を、は）を正しく使って文章が書ける。
- ⑤ たし算、ひき算（筆算を含む）が正しくできる。
- ⑥ 九九がすらすら言える。
- ⑦ 決められた長さの直線を正しく引ける。

3年生

- ① 文章の様子がよく分かるように読める。
- ② 200字の担当漢字のすべてが読め、8割ほどの漢字が書ける。
- ③ ローマ字の読み書きができる。
- ④ 話の中心をはっきりさせ、様子がよく分かるように文章を書くことができる。
- ⑤ かけ算の筆算やわり算ができる。
- ⑥ 小数、分数の意味が分かる。
- ⑦ コンパス、定規を使って図形がかける。
- ⑧ 方位や地図記号がわかる。

4年生

- ① 202字の担当漢字のすべてが読め、8割ほどの漢字が書ける。
- ② ローマ字の読み書きができる。
- ③ 文の構成に気を付けて、文章を書くことができる。
- ④ 国語辞典、漢字辞典が正しく使える。
- ⑤ わり算の筆算ができる。
- ⑥ 小数のたし算、ひき算ができる。
- ⑦ 分母が同じ分数のたし算、ひき算ができる。
- ⑧ コンパス、分度器、三角定規を使って、作図ができる。
- ⑨ 47都道府県の位置が分かり、都道府県名を正しく書ける。

5年生

- ① 193字の担当漢字のすべてが読め、8割ほどの漢字が書ける。
- ② 今までに習った漢字を使った熟語の8割ほどが書ける。
- ③ 小数のかけ算、わり算ができる。
- ④ 分数のたし算、ひき算ができる。
- ⑤ 割合、百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ 面積や体積を求めることができる。
- ⑦ パソコンでローマ字入力ができる。
- ⑧ アルファベットの大文字や小文字を使って書くことができる。

6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割ほどの漢字が書ける。（6年生の担当漢字は191字）
- ② 小学校で習う漢字を使った熟語の8割ほどが正しく書ける。
- ③ 俳句や短歌のいくつかを暗唱できる。
- ④ 分数のかけ算、わり算ができる。
- ⑤ 歴史上の出来事や人物について、だいたい説明できる。
- ⑥ 世界のおもな国々の位置を正しく示せる。
- ⑦ 理科の実験器具の正しい扱い方が分かる。
- ⑧ パソコンで速くローマ字入力ができる。

4 生活の中で心がけたいこと

- 読書は「見えない学力」を高めるので、進んで本を読もう。
- 国語辞典、漢字辞典その他の辞典を身近において調べよう。
- 日本地図、世界地図を身近において調べよう。
- ニュース番組を親子で見えて話し合おう。新聞を読もう。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察しよう。
- 家の手伝いを進んでしよう。
- 「早寝・早起き・朝ご飯、自分で歩いて登下校」を意識して生活をしよう。